



THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN

大学院修士全科生2026年度 入学希望者ガイダンス

人文学プログラム

1. 課程の特徴等

《人材養成目的》

「開かれた大学院」として、年齢、性別、職業、居住地域に関係なく、学生が家庭や職場を離れることなく、自らの計画に沿って、広い教養と高度な専門的学識や技能を学び、学位を取得できる場とすることを目指します。深く広い教養に裏付けられた専門知識に基づく確かな総合的判断能力を持ち、習得した知識と見識を社会に還元し、貢献できる人材を育成します。

《教育目標》

遠隔教育を媒介とした教育方法を取り入れ、各人の固有の経験と蓄積された学問の融合を行い、深く広い教養と高度な知識および実践能力を培うことを目指します。それにより専門職業人、優れた社会人としての能力と、現代社会における諸課題の解決を目指し、貢献できる能力を育成します。

《求める学生像》

専門領域における基礎知識を持ち、学問への意欲と広い問題意識を持った学生を求めます。

①学部と修士の違い

- 学習ではなく研究
- 研究の課題を自ら設定し、それを探究する
- 研究の成果を論文という形で結実させる
- 学部の卒業研究は任意、修士の修士論文は必修

②身に付くスキル

- 学術論文を執筆する能力
- 論理的思考力
- 批判的思考力
- 客観的なものの見方

③入学希望者に求めるもの

- 知的好奇心
- 幅広い問題意識
- 研究への意欲
- 研究方法・研究指導に対する理解
- 専門領域における基礎知識

2. 論文の執筆について

修士課程の修了要件は、臨床心理学プログラムを除いて、放送授業22単位、研究演習8単位の合計30単位です。その他に研究指導がありますが、これには単位は付与されません。放送授業22単位は、単位数としては70%以上を占めますが、研究指導と研究演習が非常に重要な意味を持っています。研究指導・研究演習とは、修士論文を執筆するための指導です。

①修士論文とは

《レポートと論文の違い》

- レポートは、既存の研究成果やデータを利用して、まとめるもの。
- 論文は、自ら適切な課題を設定し、学術的な方法に則って資料やデータを収集・分析して、合理的な結論を導くもの。

《論文の基本構成》

(1) 課題の設定

- 適切な課題
- 先行研究との関係

(2) 論証

- 論文の中核
- 資料やデータの収集・作成
- 正確で論理的な分析

(3) 結論

- 論証から導き出される客観的な結論
- 設定した課題との対応関係

②研究計画を立てるにあたって

- テーマの設定と研究方法は具体的に。
- どんなテーマで、何を研究するか、筋道をはっきりさせる。
- 研究結果をデータで示せるなど、客観性を持ったテーマ設定に。
- 研究対象は、あまり広げすぎないようにする。
- 先行研究、特に自分の研究テーマに関する基本研究を探して、到達点を確認する。

3. 放送大学における研究指導

放送大学大学院修士課程は、7プログラムからなり、人文・社会・自然という幅広い学問分野を覆っています。このため各プログラム、各専門分野、さらには各教員によって、研究指導・研究演習の進め方に違いがあります。ここでは各分野に共通する基本的な点を中心に説明します。

①研究指導の流れ

【第1年次】

4月 オリエンテーション

8月 研究レポートⅠ提出

→ 報告会 * 定例のゼミ・研究指導を報告会とする
こともあります

2月 研究レポートⅡ提出

→ 報告会 * 定例のゼミ・研究指導を報告会とする
こともあります

【第2年次】

8月 修士論文中間報告(研究レポートⅢ)提出

→ 報告会 * 定例のゼミ・研究指導を報告会とする
こともあります

12月 修士論文提出

1月 口頭試問

→ 個別形式または発表会形式

*対面を基本としますが、Web会議システム(Zoomを
使用)で実施することもあります

2月 単位認定

3月 修了

②指導の方法

(1) 対面指導

- ・ゼミ 大学本部や東京文京学習センターなどで実施
- ・個別指導 学生の地元の客員教員などが実施

(2) メディアを利用した指導

- ・Web会議システム（Zoomを使用）
- ・システムWAKABA
- ・電子メール

③研究指導の魅力

- 教員による直接指導
- ゼミでの研究仲間との交流
- 研究の厳しさと楽しさの経験

以 上